

JCI-TC-203A「アンボンドプレストレストコンクリート構造部材の曲げ挙動に関する研究委員会」
第9回全体委員会 議事録

日時：2022年3月18日（金）13:00～15:40

場所：Zoomによるオンライン

出席者：(委員長) 河野, (幹事) 津田, 杉本, 松崎, (委員) 谷, 小原, 大迫, 晋, 竹内, 河村, 武田, 橋本,
(記録) 高津, (事務局) 綿貫 (敬略称) (14名)

資料：・第9回全体委員会議事録案

- ・第7回 WG1 議事録案
- ・第10回 WG2 議事録案
- ・第10回, 11回 WG3 議事録案
- ・報告書目次案

1. 前回議事録案の確認

- ・前回議事録の確認が行われ, 承認された。

2. 幹事団からの報告

- ・報告書作成スケジュールが提案され, 異議なく承認された。
 - ①各章の主査が内容を確認し, 内容が適しているか判断する (2週間程度)
 - ②章内の委員で査読 (4週間程度) 別途幹事団は並行して分担をして査読
 - ③修正原稿提出 (3週間程度) → 5月末の委員会で修正原稿を再提出
 - ④他章の査読 (3週間)
 - ⑤原稿修正 (3週間) → 7月の委員会で最終原稿提出, 9月30日 (金) PM 報告会

3. 各WGからの報告

(1) WG1

- ・議事録の報告。
- ・3章と4章で記述が重複するところがある, 3章の中でも記述が重複するところがあるが, この構成で良いか。
- ・出来上がったものの性能についてのみ書くのが3章で, それを作る過程を書くのが4章という位置付けでは。
- ・少々の記述の重複はやむを得ないのでは。
- ・幹事団と取りまとめ担当で内容を確認し, 最終の執筆方針を決定する。
- ・まだ報告書をUPしていない人はサーバー (報告書原稿案フォルダ) に上げる。未完成でも執筆内容がわかるものを。
- ・3.4.1節では土木でアンボンドPC床版を使わない理由を書く予定。
- ・4.1節の土木分野は橋脚の事例を書く予定。

(2) WG2

- ・議事録の報告。
- ・6.2.1節でファイバーモデルと断面解析との区別を, 混同する部分があると思われるので, 一般論として解説した。
- ・スタジアムの段床の一部でアンボンドを使用している事例があるが, 図の転載許可が取れない可能性が

ある。その場合は、プロジェクトがわからないように図を作成する必要がある。→具体例があるとわかりやすいので、可能なら許可を取って掲載する方向で進めてもらいたい。

(3) WG3

- ・議事録の報告。
- ・壁 WG の報告書に出てくる MS モデルについても、先ほど説明した 6.2.1 節で解説することとする。→ファイバーモデルと MS モデルを直列につなげたものは、同じものであるともいえるのではないか。
- ・報告書の全体を通して、用語を統一しておく必要があると思われる。

(4) WG4

- ・WG からの報告は特にないが、報告書に掲載する図の転載許可は誰がとるのか。
- ・図の転載許可取得は基本的に執筆者が行う。7 月の最終原稿完成前に許可が取得できれば良い。JCI の出版物からの転載許可は不要。転載許可はメールの返信でも良い。
- ・AIJ の論文の場合、著者に許可を取らねばならない。
- ・AIJ の出版物からの転載は、AIJ に許可を取らねばならないが、20 点以上は有料となる。
- ・WEB（ホームページ）からの転載許可は、それぞれの会社に問い合わせるのか。
- ・海外論文の場合、大体のものはコピーライト・クリアランス・センター（Copyright Clearance Center）が一括管理している。論文によって異なるが、5 千円～1 万 5 千円程度の許諾料がかかる。各執筆者が立替払いをし、後で JCI に請求することになる。立替払いの際のあて名を JCI としておく必要がある。
- ・自分が書いた海外論文の場合転載許可が不要と考える。書面に書いている。→書面を残しておく。
- ・各章で転載許可が必要な図表をリストアップすること。
- ・5 月の理事会に報告会の会告を出すことを諮る。転載の許諾料がかかる場合、あらかじめ報告しておくのが良い。

4. 報告書の進捗状況報告

- ・各委員から報告書の進捗・内容についての報告がなされた。

5. その他

- ・次回の全体委員会は 5 月末。次々回は 7 月に予定。
(JCI では 6 月末まで基本的にオンラインで会議を実施する方針)

以上